

# 「挑戦・友愛・創造」

串間市立串間中学校 校長 平田 史士

自主・自覚・自力を身に付けよう！

## 令和3年1月6日 第3学期 始業式

○串間中学校第3学期が始まりました。始業式では、各学年代表の生徒3名と生徒会執行部代表1名が3学期及び新年の抱負を発表してくれました。3年生は、いよいよ高校入試が始まります。体調管理をしっかり行い、最高のコンディションで受験に臨み、「行ける高校ではなく、行きたい高校へ合格！」してほしいと思います。1・2年生は1年間のまとめをしっかりやっていきましょう。



1年4組…佐久間かれんさん	・一致団結し、行動を意識しながら、感謝の心を忘れずに、何事も積極的にあきらめないように、この三学期を過ごしていきたい！
2年4組…原口 心玄さん	・継続することの大切さと、学級委員長としての行動と自覚を忘れることなく、過ごしていきたい！
3年4組…水元 竜基さん	・受験生として、一步踏み出す勇気を持ちながら、志望校へ合格し、何事にも挑戦する姿を見せていきたい！
生徒会…作本 優菜さん	・生徒会執行部の仲間と協力しながら、多くの意見を参考にし、串間中生徒みんなで力を合わせて過ごしていきたい！

### 凡事徹底

○この3学期は、次学年への0学期とも言われています。始業式の校長の話の中で、生徒のみなさんをお願いしたいこととして、「**凡事徹底**」に努めてほしい！と話しました。

この意味は…「平凡で当たり前のことをどこまでも突き詰めて行うことや、他の追随を許さないレベルまで高めること」を表した四字熟語です。

凡事の「凡」という文字には「みな」「あたりまえ」という意味があり、「凡事」で特別なものでなくふつうであることを意味します。「徹底」は、底まで貫き通すことを意味しており、中途半端でなく、一貫していることや末端まで行きわたらせることという意味です。

コロナと共に生活する時代へと入っていきます。だからこそ、普段の生活での「あいさつ」「返事」「言葉遣い」の当たり前にしなければいけないことは、徹底して行ってほしいと考えています。

コロナはワクチン開発が進めば、恐れなくてもよい感染症となるかもしれませんが、「ウザイ・キモイ・死ぬ」と言われたり、SNSにアップされたことにより、心に受けたキズはどんなワクチンや薬、手術でも治すことのできない病気です。相手の気持ちになって、考え、行動することのできる串間中の生徒であってほしいと願っています。

「高齢者施設へマスクを贈り」、「コロナウイルスに負けない宣言」を発信し、先日は「シトラスリボン」を串間市に届けた串間中の生徒として、この3学期も、コロナ感染防止の意識を高く保ち、「自立」「自学」「自力」を意識して過ごしましょう。一番短い3学期です。全校生徒それぞれの花を「咲かせ」、進学、進級に備える3学期にしていきましょう。と話しました。

## シトラスリボンを届けました！

### お知らせ！

※しばらくお休みします。

○3年3組担任で、生徒会担当、陸上部顧問の泉 真紀先生が、出産のため、今日から産休に入ります。後任の担任は、3学年主任の野邊智亮先生にさせていただきます。安心して元気な赤ちゃんを産んでください。



←※15日(金)の給食時間の放送にて、お休みのあいさつを全校生徒に行いました。



○全校生徒で作ったシトラスリボンを、昨年12月24日(木)に、串間市に生徒会執行部が届けました。